



■ 今月のコロナは・・・

5月は法華経寺でのコロナ退散祈願でしたが、6月は葛飾八幡宮でのコロナ退散祈願となりました。境内の一角には子供たちの塗り絵で彩られたアマビエも飾られていました。

苦しい時の神頼みで、「神様、仏様、アマビエ様・・・」と祈願をして来ましたが、ようやく一般高齢者へのコロナワクチン接種が各地で動き出したようです。

皆様の中には、すでに接種を受けた方、あるいは予約に手間取りながらもなんとか接種日程を決めることができた方もおられることと思います。立ち上がりは鈍いようですが、これからは順調に展開されて行くことを願うばかりです。

東京をはじめ全国9都道府県での緊急事態宣言は今年20日まで延長となっています。オリンピックの聖火リレーは各地で公道を走ることを避けながらも、粛々と最終目的地の国立競技場に向かって進んでいるようです。無事、オリンピック開催にこぎつけてほしいものです。

■ 時の記念日(6月10日)

本紙3月号で伊藤久重の万年時計について述べていますが、江戸時代は夏冬で一刻(いっとき)の長さが変わる「不定時法」のため、複雑な機能を用いて時刻が表示されることを紹介しました。

その時計は正確に動いたとしても、庶民の生活習慣では時間感覚に乏しく明治になってもそれは続いていたようです。

開国後日本にやってきた多くの外国人から「日本人は時間にルーズだ」と思われていて、これを正すために1920年(大正9年)6月10日を第1回「時の記念日」に制定したとのこと。

今でこそ「日本人は時間に正確」といわれるが、はて？この時計盤上に正確に針を描くことができるでしょうか。高齢者は運転免許更新のために認知症テストを受けるが「2時15分前」をここに描いてみてください。(テストではまず白紙に文字盤を描くのが難関となるようですが・・・)



■ 5月29日開催のzoom会合報告 <http://jvc-senior.com/20210529zoom.pdf> 参照

コロナ禍が続く中、この zoom 会合が唯一の顔合わせの機会となっていますが、毎回、新しく参加希望者が増えていて顔ぶれが様々となってきました。今回の様子はシニアクラブHPに記載されているので、そちらをご覧ください。



雪国の温泉旅館の紹介をしましたが、参加できなかった人から、「そこは私の故郷の隣町です」とのメールがありました。

今までお互いに会う機会がなかった人と人との間で、zoom を通すことにより新たな繋がりを見出す機会ともなるようです。今月のテーマも同じ「故郷と鉄道」を予定しています。

日程が決まり次第ご案内するので初めての方も積極的にご参加ください。

【追記】 第一生命が毎年募集するサラリーマン川柳で2021年の1位が発表されました。

「会社へは 来るなと上司 行けと妻」 これには共感する人が多かったようです。

オンラインで仕事をする夫に対して、妻は何かと不満を感じているのでしょうか。

zoom を通して大声をあげていると私(田代)のところも嫌がられてしまいます。気を付けましょう。

■ 路上飲み

緊急事態宣言下、飲食店・居酒屋で酒の提供が制限され閉店時刻も繰り上げられてしまって、飲む所を失った人たちが繰り出したのが路上ということです。確かに換気は申し分ないかもしれないが、密は変わらずマスクなしでの大声の談笑はコロナウイルスにとってみると、カモを捉える絶好の場でしょう。マスコミが報道すればするほどに仲間が増えてしまっているのではないのでしょうか。「規制あれば対策あり」これは世の常であり自然な成り行きです。

店が感染予防に努力している、いないにかかわらず一律に規制をかけるのはいかながなものかと感じていますが、皆様はどうお考えになるのでしょうか。

■ 事務局から

(1) 入院・通院共済 シニアクラブ便り5月号に添えて共済案内をお送りしましたが、一人でも多くの方の加入が共済の力を強くします。それぞれ加入をご検討ください。

(2) 幹事会開催報告

5月29日(土)11:00から zoom を通じてシニアクラブ役員による幹事会を開催しました。

ワクチン接種やその予約状況などをお互いに確認しましたが、皆が2回接種を終えるにはまだまだ先ようです。シニアクラブの年度切替は7月末で、今年度も具体的な活動が実施できず終わってしまいそうですが、上述の通り、オンラインでの会合は毎月続けています。

多くの皆様がここにお集まりいただけることを願っています。

尚、次年度の総会開催について幹事会で意見交換をしています。詳しくは8月にご案内いたしますのでお待ちください。  
事務局長 田代 周



左の図は本紙冒頭で述べた葛飾八幡宮境内に飾られた子供たちの塗り絵「アマビエ」です。路上飲みなどで満足せず、広い会場でお互い顔を会わせてカンパイ！する日が早く来ることを願っています。